

リーディング DXスクール事業【実践事例】

久喜市立鷲宮東中学校(埼玉県)【指定校】

【取組内容】自ら課題を見出し、自らの方法で解決できる生徒へ向けた基盤づくりを目指した実施内容

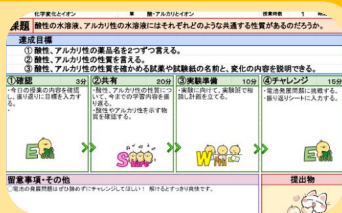
研究課題「自らが社会の創り手となり、学びを自己調整する力の育成」～学習者主体の授業デザインを通して～

研究委嘱(1/2年目): 私達がICT機器を用いた複線型授業、単元のゴールを意識した授業の実践・協議すれば、生徒は自らで見つけた課題を、生徒が選んだ(考えた)方策で解決していく基盤ができるだろう。という予測を基に、各教科での個別最適な学びに向けた取り組みと問題解決スキルを身につける、2軸で研修課題に取り組んだ。

各教科での個別最適な学びに向けた取り組み

興味を持つことで
集中力も高まります

ルーブリックを
用いた本時の流れ



引き込む

初めてのことは今まで
通り丁寧に、たくさん
の方法を伝える

自由進捗で何度も先生に
聞きに来る生徒

丁寧に伝える
試させる使って
考えさせる

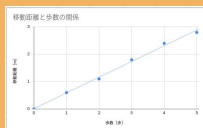
授業で見つけた
自分のやり方で、
課題解決

個(孤)別の学び
一斉授業

一つ一つ丁寧に チャレンジの前後を大切に

個別最適な学び
自らで見つけた課題を
自らの方法で解決できる

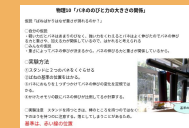
教科書の読み方、クロームの
使い方まで基本は丁寧に



情報収集は教科書、人、
オンラインでの他者参照 etc.



各授業で学んだスキルを
生かして、整理・分析



身に付けたスキルの活用
・旅行者に修学旅行の企画を発表
・震災の際避難所で私達ができること
・生徒が計画実行したビブリオバトル



問題解決スキルを身につける

課題の設定

情報の収集

整理・分析

まとめ・発表